

多久スポーツピア吹矢サークル

健康維持・ストレス解消に一緒に楽しみませんか？

メンバーのみなさん



▲実際に使用するプラスチック製の“矢”

多久スポーツピア吹矢サークルは、3年前に結成し、現在8人のメンバーが多久市体育センターで活動しています。

あまり聞き慣れない、この「スポーツ吹矢」とは、胸式・腹式呼吸による健康法が自然にできることと、的に矢を命中させた時の爽快感を伴った競技として全国で広がりを見せています。

“吹矢”と聞くと“危ない！”といったイメージですが、長さ100cm～120cmの細長い筒に、長さ20cm程で重さ1g程のプラスチック製のフィルムを円すい状に丸めた安全な矢を入れ、6m～10m先の33cm×33cmの大きさのウレタン製のやわらかい的に向かって吹くので、子どもから高齢者、障害をお持ちの人でも、場所を選ばず手軽に楽しめる安全なスポーツです。

代表の岩村好修さんは「1時間練習していると、かなりの運動量になります。心地よい汗もかけ、的に当たるとストレス解消にもなります」と話されました。

毎週火曜日の19時30分～21時多久市体育センターで楽しく活動しています。腹式呼吸で健康づくりをしませんか？年齢や男女関係なく誰でも入れます。一度見学に来てください。※ただし、加入される場合はスポーツピアに入会していただくことになります。

問 スポーツピア事務局 ☎75-5385

ふ・わ・あ・い・ひ・ろ

●連載31● 郷土資料館で学ぶ多久の歴史 多久のお宝展～佐賀県重要文化財を中心に～

②美しい絵物語 奈良絵本

奈良絵本は、御伽草子などの物語に美しい挿絵をつけた冊子本です。郷土資料館所蔵の佐賀県重要文化財「多久家資料」には、江戸時代初期に作られたとみられる、3つの奈良絵本がありますが、なぜ多久にこれらの本が伝わったのかは、はっきりしません。

和泉式部の娘で歌人として有名な小式部尚侍の物語「小しきふ」、浦島太郎で有名な説話「うらしま」、奈良・当麻寺の当麻曼荼羅を一晚で織り上げたという伝説の女性「中將ひめ」。どの作品にも、美しい筆跡で書かれた物語に、鮮やかな色彩で



描かれた挿絵が添えられ、見ているだけで雅な気分を楽しめます。この機会に、ぜひご覧ください。

▲奈良絵本「中將ひめ」の一場面

「多久のお宝展～佐賀県重要文化財を中心に～」

会場 / 多久市郷土資料館 2号・3号展示室
 会期 / 12月1日(日)まで

多久市郷土資料館・歴史民俗資料館・先覚者資料館

開館時間 / 9時～16時 入館料 / 無料
 休館日 / 月曜日(月曜日が休日の場合は開館し翌火曜休館)

■問い合わせ 多久市郷土資料館 ☎75-3002

市民文芸

短歌

《麦の芽短歌会 互選》

びろおどの 如き棚田を撫づるごとく
 優しい風の 吹きわたるゆくと
 川浪 信子

しあわせになるため生きて行く日々を
 不幸な事件の 絶える日はなき
 浦野 嘉恵

わんまんな 夫も年老いわれよりも
 先に逝くことしきりに話す
 福島那智子

加齢とふ 月日の早さに追われつつ、
 杖つき歩む 抵抗なしに
 田淵ミチ子

ぐちひとつ こそばさず笑顔の母ありて
 われの手本と 今を生きぬく
 梶原恵美子

俳句

《俳句 楷樹句会 互選》

野仏の 頭はあたたかし 赤とんぼ
 まっさをの 空ふかぶかと 秋日和
 不二見恵美子

壮烈や 疲一斗の 句子規忌来ぬ
 森山 抱石

バケツには 孫が摘み来し 秋の草
 納富 芦風

刈り終へて 納屋に収まる 案山子かな
 野田キヌ子
 田中久美子

川柳

《多久市川柳会 互選》

彼岸花 咲いて稲田は 秋日和
 炊きたての 新米猛暑 忘れさせ
 古井のぶ子

古里の 実り両手に 母が来る
 高塚チカ子

最高齢 山水飲んで 歩いてる
 大谷 和

慟哭も 歓喜もあつて 老いを生き
 東島すみ子
 西山 残月